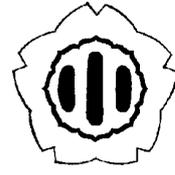


# 11月 けやき



学校だより  
2024 (R6) 年  
11月29日発行

## そよけたる梢 銀杏の落葉かな

気がつけば紅葉の季節も一気に過ぎ去り、朝夕は風が冷たくなっています。とはいえ運動場の東にある銀杏は黄色に色付き、まだ晩秋の装いを残してくれています。「そよけたる梢 銀杏の落葉かな」は、河東碧梧桐の俳句で、銀杏の葉が少しずつ落ち始めて梢が見えるようになってきた情景を歌ったものです。「銀杏黄葉（いちょうもみじ）」という季語もあります。「紅葉」をもみじと読むことは広く知られていますが、季語では銀杏と組になって「黄葉」をもみじと読ませるようです。植物ごとに落葉の時期が少し違うことを面白く表現しているようにも感じます。

銀杏と聞くと思い出す話があります。昔、御所小学校の校舎の南に大きな銀杏の木がありました。ちょうど二宮金次郎の像のあたりでした。それはかなりの大木で12月になると道路一面に銀杏の実や黄色い葉が落ち始めます。その当時勤務していた先生から聞いた話です。

「朝、一人で落ち葉を集めていると、『私もします』と子供たちが竹箒をもって一緒に落ち葉集めてくれるんです。御所はなんていい学校なんでしょう。」

自分の母校をそんなふう言ってくれて、うれしかったのを思い出します。

これから北風の厳しい時期を迎えますが、寒さに負けず、児童が元気に、そしてあたたかい人へ成長してくれることを楽しみにしています。



## 11月のアルバム



バス遠足



なかよし班活動



6年 地層見学



4年 麦まき



校内体操発表会



楽焼き色つけ



3年 工場見学



2年 町探検（御所の郷）



逃走中（ロング集会活動）